

## 学生の皆さんへ 後期の授業開始に伴う新型コロナウイルス対策について

後期からは対面授業が始まります。また授業開始前から実習に出ている学生もいます。ウィズコロナの状況下で「新しい生活様式」が求められる中、学校生活が始まります。そこで今から皆さんにお願いしたいことなどをまとめました。

### 1. 自身の健康状態を毎日確認し、感染症対策を行う。

- ① 毎日必ず検温し、同封の「健康観察カード」に記入してください。実習先にも毎日持参してください。とくに実習に出る場合は、実習開始前の4週間前から必ず検温し、記録してください。体調が悪い時は、無理をせず、外出を控え休養するようにしましょう。
- ② 石けんでの正しい手洗いをこまめに行ってください。外出先などで消毒液が置いてある場合はこまめに使用しましょう。また、携帯用の消毒液を持参することを推奨します。
- ③ マスクを着用し、咳エチケットを守りましょう。ただし、その日の天候によっては熱中症対策も合わせて行う必要があります。別紙「熱中症予防×コロナ感染防止で『新しい生活様式』を健康に！」を参考にしてください。
- ④ 3密が発生する場所を徹底して避けるとともに、ソーシャルディスタンスを守りましょう。他者との近距離での大声での会話や接触を避けましょう。7月末から飲食店での会食の場を介して感染した大学生を含む20代の若者の感染例が多く確認されています。飲食店での会食やカラオケ、イベント、スポーツ観戦などで大声を出すことを自粛してください。
- ⑤ 公共交通機関を利用する場合は、マスクを着用し、会話は控え目にしましょう。別紙「鉄道を安心してご利用いただくためのお客様への3つのお願い」を参考にしてください。
- ⑥ 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)の利用を推奨します。詳しくは同封のチラシをご覧ください。

### 2. 登校について

- ① 各授業開始時刻の30分前から授業開始時刻5分前までを登校時間と設定します。それ以外の時間に登校することは避けてください。時間割については同封の教務からの配付資料を確認してください。(ステップ1、ステップ2)
- ② 正面玄関から入り、手指の消毒をし、サーマルカメラで体温を測定してください。発熱のある場合は、そのまま校舎に入ることはできませんので、必ず職員に声をかけてください。次に職員に「健康観察カード」を渡して確認印を押してもらってから、学生玄関に行き、上履きに履き替えてください。遅刻した場合は、受付の職員にお声かけください。
- ③ 校内に入ったら、まず手洗いをしてください。手洗い場が少ないため、227室(2階 造形実習室)・406室(4階 小児保健実習室)・414室(4階 絵画・図工実習室)を開放しますので、ご利用ください。また各トイレに設置してあるハンドドライヤーは、感染防止のため使用を中止していますので、各自ハンカチ、タオル等を用意してください。

### 3. 教室などの利用について

- ① 感染予防の観点から移動を少なくするため、基本的に一日同じ教室(メイン教室)で授業を受けます。ソーシャルディスタンスを守るために間隔を空けて座ります。(座席指定)
- ② 着替えが必要な場合は、男子学生は更衣室を利用し、女子学生はメイン教室の自分の席で着替えるようにしてください。着替えの際には、ドアに「着替え中」のプレートを掲げ、ブラインドカーテンやドアを閉めるよう、学生の皆さんで協力して行ってください。
- ③ ピアノ、PC、図書館を利用する際には、直前に必ず石けんで手洗いをし、部屋の入口に備え付けの消毒液で手指を消毒してください。鍵盤、キーボード、図書に塩素消毒ができないため、ご協力をお願いします。また、爪の間に入ったウイルスでの感染を防ぐために、爪切りのレンタルを廃いたしました。
- ④ 使用した教室は、職員が毎日消毒しています。そのため、使用しない教室には施錠してありますので、ご理解ください。

### 4. 昼食・飲食について

- ① 感染予防の観点から移動を少なくするため、メイン教室の指定の席で昼食をとってください。黒板に向かって食事をするようになります。また、ステラホールやラウラールームを利用する際も、感染症対策を必ず守ってください。
- ② 飲食時はマスクを外し、飛沫が出る状態になるため、会話をしないようにしましょう。

### 5. あなた自身または同居する人が下記の場合は、教務・学生支援課に電話にてお知らせください。

発熱や咳など風邪の症状が出た場合    新型コロナウイルスに感染していると診断された場合  
 新型コロナウイルスの感染者と濃厚接触した場合